

第47回 東北農業経済学会・秋田大会のご案内

標記大会についてご案内申し上げます。今回は、秋田市において開催されることになりました。充実した大会になりますよう、会員各位の積極的なご参加をお待ちしております。

日 時 2011年9月1日(木) 編集委員会、学会賞選考委員会、役員会
9月2日(金) 大会シンポジウム、総会、懇親会
9月3日(土) 個別報告、ミニシンポジウム

◆大会シンポジウムテーマ:東北農業構造の到達点と土地利用型農業の展開方向

—戸別所得補償制度をふまえて—

会 場 秋田県庁第二庁舎8F大会議室 秋田市山王4丁目1-1 (p5参照)

◆ミニシンポジウムテーマ:秋田県園芸ののびし方 —施策・販売戦略・担い手—

会 場 秋田県社会福祉会館 秋田市旭北栄町1-5 (p5参照)

◆大会実行委員会

委員長:佐藤 了(秋田県立大学) 事務局長:長濱健一郎(秋田県立大学)

◆プログラム

第1日 2011年9月2日(金) 大会シンポジウム、総会

会場:秋田県庁第二庁舎8F大会議室 (p5参照)

- | | |
|-----------|------------|
| ○受付 | 9:00~9:20 |
| ○開会・会長挨拶 | 9:20~9:25 |
| ○来賓挨拶 | 9:25~9:35 |
| ○大会シンポジウム | 9:35~16:30 |

共通論題 東北農業構造の到達点と土地利用型農業の展開方向

—戸別所得補償制度をふまえて—

東北地方の大規模経営は地代負担に耐えるだけの経済力がなく、農地集積が進展する条件がないという。また東北地方は北陸地方に次いで兼業化率が高く、しかも2~5haの中規模層の半分は第二種兼業農家である。この条件下では担い手の絞り込みが行えず、経営安定対策導入により対象となる4ha以上層は8.7%しか存在しなかった。そこで集落営農組織が数多く作られたが、この農業構造下での法人化の道のりは険しく、様々な課題を抱えていた。そこに新たに登場したのが「戸別所得補償制度」である。

本制度は規模の大小にかかわらず適用されるが、このことが東北農業の構造にどのような影響を与えるのか。さらに本制度は背景に農産物貿易自由化を進めるという条件を有している。そこでTPP等の自由化推進と、その対応策としての戸別所得補償制度の評価を行い、このような状況に担い手経営はどう対応し、地域農業を牽引していくのか。さらに新規需要米等のコメによる転作対応で地域農業をどうデザインしていくのか、という視点から東北地方における土地利用型農業の課題と可能性を探る。

座長 佐藤 了(秋田県立大学)、迫田登稔(中央農業総合研究センター)

座長解題

- 第1報告 2010年農林業センサスからみる東北農業の構造 泉谷眞実(弘前大学)
第2報告 戸別所得補償制度の制度設計と評価 横山英信(岩手大学)
第3報告 東北水田農業の担い手構造と政策対応—秋田県の事例— 渡部岳陽(秋田県立大学)
第4報告 戸別所得補償制度下での新たな転作対応—新潟県の事例— 伊藤亮司(新潟大学)
コメント 橋詰 登(農林水産政策研究所)
梅本 雅(中央農業総合研究センター)
冬木勝仁(東北大学)

休憩

総合討論

- 学会総会 16:30~17:30
○懇親会(会場:ふきみ会館(p5参照)) 18:00~20:00

第2日 2011年9月3日(土) 個別報告、ミニ・シンポジウム

会場:秋田県社会福祉会館(p5参照)

- 個別報告 9:00~12:20
4会場、報告20分+質疑5分(報告者数により変更あり)
○ミニ・シンポジウム 13:30~16:30

テーマ 秋田県園芸ののびし方 —施策・販売戦略・担い手—

秋田県でもこれまで園芸振興が取り組まれてきたが、未だに後発産地とみられており、点的な展開として把握されている。本シンポジウムでは、現在の秋田県における園芸をめぐる状況を施策・販売戦略・担い手の3つの観点から分析し、県全体の園芸の現状を振興施策と一体的に把握することを目指す。

具体的には対照的な販売戦略をとる2つの品目を取り上げる。秋田県の統一ブランドが確立しつつある「えだまめ」と単協ブランドで展開している「トマト」である。一方のえだまめは、近年の県・農協の協力体制のもとで園芸品目としては唯一の県の統一ブランドが確立しつつある。他方のトマトは1970年代から振興され、野菜生産量の少ない秋田県では出荷額がもっとも大きい品目である。市場販売では量的なまとまりが重視される品目であるにもかかわらず、現在は単協単位で独自の販売戦略が展開されている。えだまめとトマトについて、振興の経緯と具体的取り組み、販売戦略の詳細と担い手となる生産者像を明らかにし、比較することによって、秋田県における園芸作展開の特徴をとらえる。その上で課題と今後の方向を検討する。

座長 佐藤加寿子(秋田県立大学)

- 第1報告 秋田県の園芸動向と施策 長沢淳良(秋田県農林水産部)
第2報告 えだまめにおけるオール秋田対応 津田 渉(秋田県立大学)
第3報告 トマトにおける単協独自戦略の展開 宮入 隆(秋田県立大学)
話題提供 斎藤恭史(JA全農あきた)
安斉美紀男(丸果秋田県青果(株))
青澤久夫(㈱ベジ&フルあきた)

討論

閉会

◆大会に関する各種申し込み等について

1. 大会参加の申し込み

会場や資料準備の都合上、およその参加人数を把握するため、8月5日(金)までに別紙申込用紙をファックス下さるか、もしくは必要事項を記載したEメールにてお申し込み下さい(申し込み先は次頁)。なお、大会参加は当日も受け付けます。

シンポジウム参加費(報告要旨集代)は2,000円、懇親会参加費は4,000円(院生・学生は2,000円)です。代金は当日、会場受付にて承ります。

2. 個別報告の申し込み

大会第2日(9月3日)9:30~12:00に個別報告を行います。次の要領で募集しますので、ふろってご応募下さるようお願い申し上げます。

なお、報告時間は20分、質疑5分を予定しています(報告者数により変更あり)。個別報告プログラムを8月中旬頃に学会ホームページに掲載しますのでご確認下さい(<http://www.soc.nii.ac.jp/aest/>)。

(1) 申し込み方法

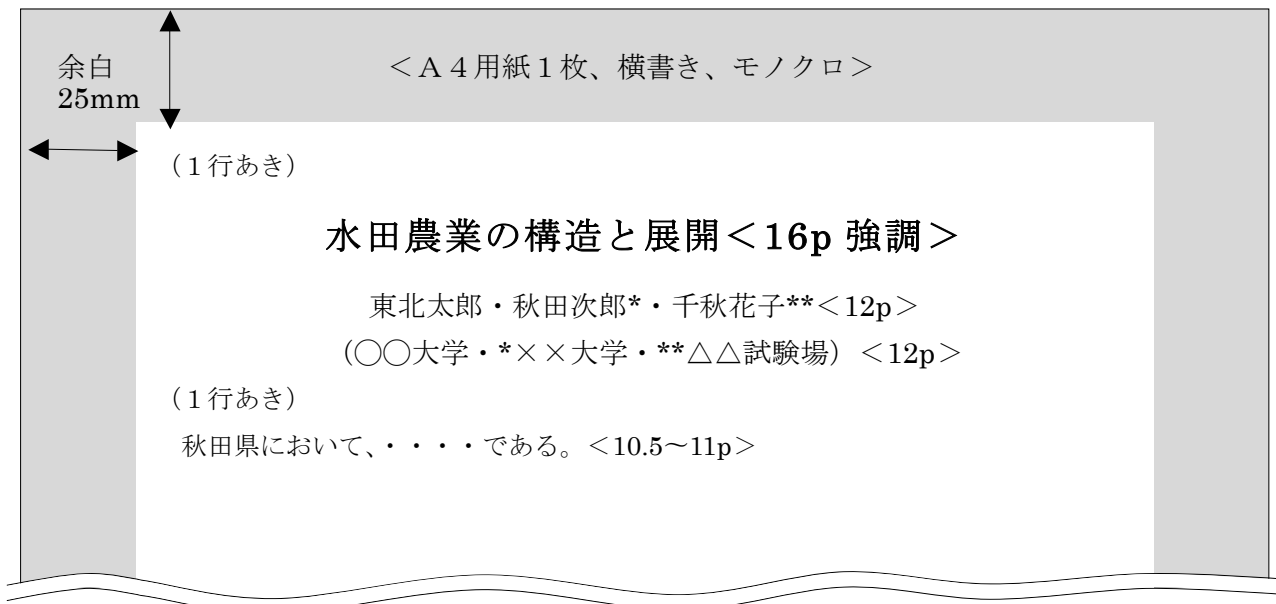
別紙申込用紙の「2. 個別報告申し込み」に必要事項をご記入の上、7月1日(金)までにファックス、もしくは必要事項を記載したEメールにてお申し込み下さい(申し込み先は次頁)。

(2) 報告要旨の作成要領

個別報告を申し込まれた方は、下記の要領で報告要旨を作成してください。要旨集は原則として提出原稿がそのまま原版となるオフセット印刷にて作成されますのでご注意ください。

- ① A4サイズ1枚、横書き、モノクロ、余白(マージン)は上下左右25mm
- ② フォントは和文MS明朝、英字century。10.5~11ポイント。42字×36行に設定
- ③ タイトル16ポイント、強調(ボールド)、氏名と所属機関 12ポイント

※イメージは次のようになります。参考にしてください。



(3) 報告要旨の提出

7月29日(金)までに、ワード、一太郎、リッチテキストいずれかのファイルを、①CD-ROMで郵送、または②添付ファイルでEメール送付して下さい(申し込み先は次頁)。なお、

提出の際には、氏名、所属、連絡先（住所、電話番号、Eメールアドレス）も併せてお知らせ下さい。

(4) その他

① パワーポイントでの報告を希望される方は、大会第1日（9月2日、個別報告前日）に大会受付付近に用意してあるパソコンの指定フォルダにファイルをコピーして下さい。

② 配布資料は50部ご用意下さい（会場ではコピーできませんのでご注意下さい）。

大会参加および個別報告の申し込み・お問い合わせ先

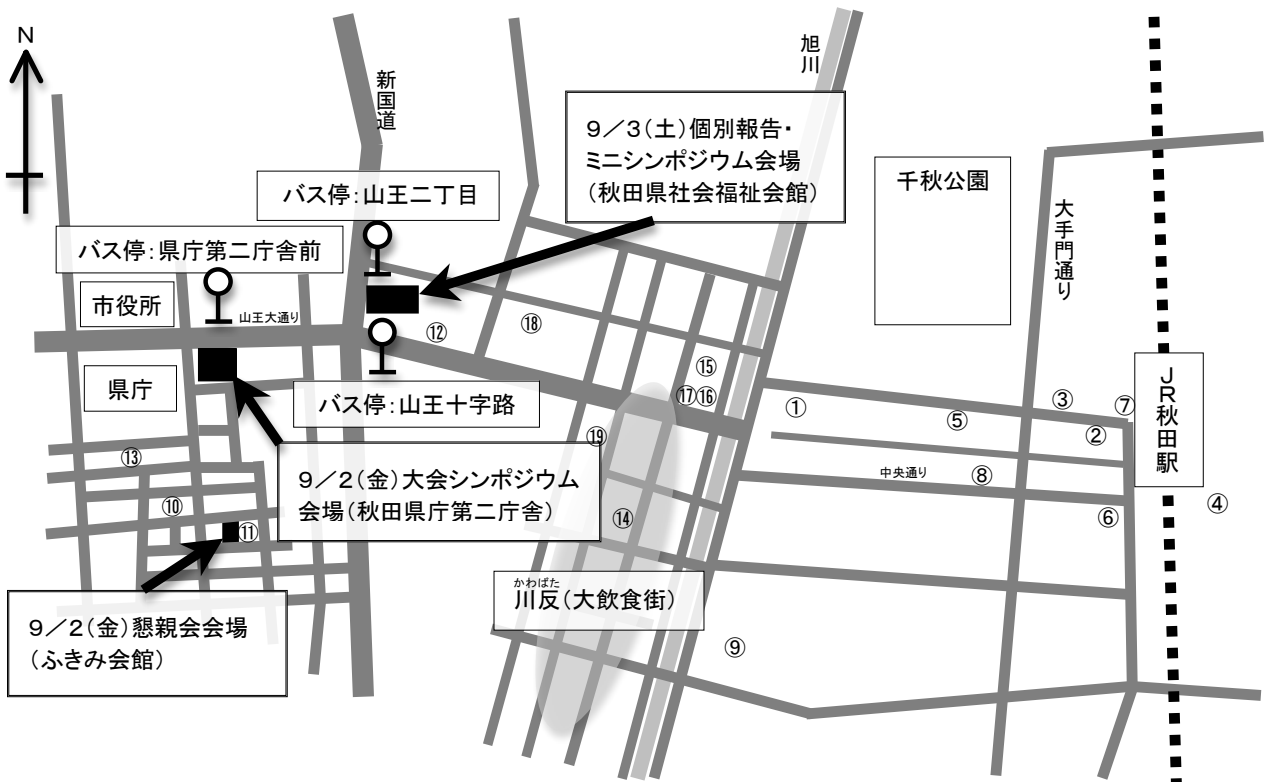
	締め切り	申し込み、お問い合わせ先
大会参加申し込み	8月5日(金)	〒010-0195 秋田市下新城野字街道端西241-438
個別報告エントリー	7月1日(金)	秋田県立大学 生物資源科学部 生物環境科学科
個別報告要旨提出	7月29日(金)	中村勝則 宛 TEL 018-872-1616 (直通) FAX 018-872-1677 Email k_nakamura@akita-pu.ac.jp

◆主な宿泊先一覧（エリア別ホテル名50音順、手配は各自でお願いします）

※場所については次頁の地図をご覧ください

エリア	ホテル名	TEL	特記事項
秋田駅周辺	① 秋田キャッスルホテル	018-834-1141	2011年リニューアル
	② 秋田ビューホテル	018-832-1111	
	③ コンフォートホテル秋田	018-825-5611	2006年オープン
	④ 東横イン秋田駅東口	018-889-1045	秋田駅直結
	⑤ ドーミーイン秋田	018-835-6777	大浴場&露天風呂
	⑥ ホテルアルファワン秋田	018-836-5800	
	⑦ ホテルメトロポリタン秋田	018-831-2222	秋田駅直結
	⑧ リッチモンドホテル秋田駅前	018-884-0055	2009年オープン
	⑨ ルートイングランディア秋田	018-825-5411	天然温泉併設、川反に近い
会場周辺 (山王)	⑩ アキタパークホテル	018-862-1515	大会シンポ・懇親会会場至近
	⑪ ふきみ会館	018-863-8880	懇親会会場
	⑫ ホテルアルファイン秋田	018-866-3355	個別報告・ミニシンポ会場至近
	⑬ ルポールみずほ	018-862-2433	大会シンポ・懇親会会場至近
飲食街周辺 <small>かわぼた</small> (川反)	⑭ アルバートホテル秋田	018-888-3333	繁華街ど真ん中
	⑮ イーホテル秋田	018-865-7111	大浴場、旧ワシントンホテル
	⑯ ダイワロイネットホテル秋田	018-883-0500	コンビニ併設、2006年オープン
	⑰ パールシティ秋田竿燈大通り	018-862-0501	
	⑱ ホテルパールシティ秋田大町	018-863-2525	
	⑲ ホテルパールシティ秋田川反	018-865-2111	

◆大会会場(秋田県庁第二庁舎、秋田県社会福祉会館、ふきみ会館)、ホテルの位置



◆交通手段・所要時間

※会場施設には駐車場もありますが、台数が限られておりますので交通機関の利用をおすすめします

出発地	交通手段	行き先	
		県庁第二庁舎 (第1日)	秋田県社会福祉会館 (第2日)
J R 秋田駅 西口	路線バス	県庁市役所方面ゆき「県庁第二庁舎前」下車 約10分	県庁市役所方面ゆき「山王十字路」下車 新国道經由土崎方面ゆき「山王二丁目」下車 約10分
	タクシー	約5分 (約1,000円)	
	徒歩	約30分 (2km)	
秋田空港	リムジンバス	J R 秋田駅西口・県庁市役所ゆき乗車 「県庁市役所 (終点)」下車 約50分	

◆会場連絡先、アクセスマップURL

◎秋田県庁第二庁舎 (秋田市山王4丁目1-1 TEL 018-860-1073)

<http://www.pref.akita.jp/soudan/access.html>

◎秋田県社会福祉会館 (秋田市旭北栄町1番5号 TEL 018-864-2700)

http://www.akitakenshakyu.or.jp/akitakenshakyu/kaikan/contents_base.cfm?PGID=40097

◎ふきみ会館 (秋田市山王5丁目9番6号 TEL 018-863-8880)

<http://www.police.pref.akita.jp/kenkei/sisetu/index.html>

=====〈大会参加・個別報告申込みFAX用紙〉=====

送信先FAX番号 018-872-1677

秋田県立大学 中村勝則 あて

※Eメールで申し込む場合は、下記の事項をテキスト入力して送付してください。

(送付先 k_nakamura@akita-pu.ac.jp)

氏 名 : _____

所 属 : _____

電 話 : _____

Eメールアドレス : _____

1. 大会参加希望の有無 (いずれかに○印)

1) 大会シンポジウム・・・ 参加 ・ 不参加

2) 懇親会・・・・・・・・・・ 参加 ・ 不参加

3) 個別報告・・・・・・・・・・ 参加 (報告: する・しない) ・ 不参加
↳ 2. へ

4) ミニシンポジウム・・・ 参加 ・ 不参加

2. 個別報告申込み

1) 報告テーマ _____

2) パワーポイントの使用・・・ する ・ しない (いずれかに○印)